

は じ め に

昭和48年度は、4月7日から開幕した鳥取県で初の地方日展「第4回日展鳥取展」で活動が始まった。

5月に「日本伝統工芸秀作展」、10月には開館一周年記念事業として「世界の蝶展」・「郷土美術展」を同時に開催する等4つの自主事業のほか、新聞社主催の「スペインの版画展」、「二科展」、「行動美術展」等優れた美術展も開かれた。

さらに年間を通じて常設展の充実、学習講座・映写会・現地見学会・採集会等数多くの教育普及活動を行なって、漸く館活動を軌道に乗せることができた。

しかし、当館は開館以来日が浅いため今後に多くの課題を抱えている。とりわけ博物館が、その日常活動において学校の児童・生徒をはじめ一般県民に、学習の場として又鑑賞の場として十分活用されるようにしなければならないと思う。

そのためには、私たちは常に館の足跡を省み、たゆまざる資料の収集と調査・研究によって、充実したしかも県民が親しみの持てる常設展示活動や、学校或は公民館と提携する等によって館内外における教育普及活動を行なうよう、さらに創意と工夫をこらして県民の要望に答えなければならないと考えている。

年報第2号の発行に当り、県民をはじめ関係機関の絶大なるご指導とご援助をお願いすると共に、貴重な資料を多数ご寄贈・ご寄託いただいた有志の方々に衷心より感謝を申し上げる次第である。

昭和49年10月

館 長 西 本 真 一